

寺報

No.708

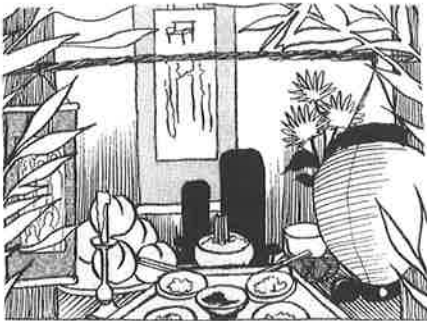
令和8年8月

蓮華寺
發行

御聖訓

うつりやすきは人の心なり、善
 悪にそめられ候。

『西山殿御返事』



(解説)

先日、以前靈断で「しつかり拝んで下さい。」といわれたので、やってみただけあまり良い事は起らなかったのですがと訪ねて来た方がいました。

この方にとっての、良い事とは何なのでしょう。宝くじに当選してお金持ちになったり、自分の意の如く何でも出来る事なのでしょう。

人間はどうしても目の前の豊かさを追い続けて、逆に心の豊かさを見失う事が多いようです。

現代は突然災害が起つたり、また悲惨な事故や事件がいつ起るかもしれないような状態です。

こういう世の中で、何とか無事にすごせた事こそがご先祖や諸天善神の護りであり、素晴らしい良い事なのではないでしょうか。

これが、「しつかり拝んだ」結果であり、法華經・お題目信仰の功德なのです。

我々には日々、つらい事があるかもしれませんが、この信仰心があれば、逆に生きがいのある世界として受け止める事が出来るのです。

どうか、皆様も「しつかり拝んでみて下さい。」

お盆の日程

当山では次の日程でお盆行事を執り行います。

十二日(水)

午前十時半頃

※当山の永代供養塔・水子観音・動物供養塔・日蓮大聖人銅像・浄行菩薩等のご供養

十三日(木)

午前六時～午後二時半迄

※三内霊園墓経【他の霊園には参りません】

※位牌堂【住職・對馬上人が待機しますので、お経が依頼出来ます】

十四日(金)～十六日(日)

※旧市内の棚経

午前八時～一日中

【十三日～十六日迄の間の法要、ご祈祷などはお寺とご相談の上で決めて下さい】

十七日(月)～二十日(木)

※檀家よりご依頼のある新市内の棚経

【ご希望の方は、あらかじめご予約下さい】

二十一日(金)

※『施餓鬼供養会』

昼十二時半より

【お盆の最後の行事です、必ず参拝・お焼香下さい】

●詳細は事務所まで。

☎ 776-5840

お盆の棚経たなぎょうのお願い

例年蓮華寺では、お盆の棚経（各家を回りお経を上げる）を八月の十四日より十六日まで青森の『旧市内』を回り、十七日より二十日までは、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家を回っております。

しかし、お盆は一週間の期間しかありませんので、数多くは回れないのが現状です。

特に最近では青森も住宅事情により、各家庭が新市内へと移動して行きました。

その点、十七日以降の棚経のご依頼が多くなってきています。

でも十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行なわなければならない状況から、多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日からでも回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申し込みの上、日時を決めて戴くようお願い致します。

なお、それ以外の方は、例年通りの日時にお伺いする

お盆の追膳

（位牌堂・三階永代供養堂）

*十四日・十五日・十六日の三日間・・・千八百円数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。（受付中）

予定です。

また毎年お盆になりますと、檀家さんから「お経が短い」「棚経を忘れられた」とお叱りをよく受けます。

お盆は、限られた期間、限られた人数が、限られた時間に対応しなければなりませんので、お経が短くなります事をご理解戴き、何とぞご容赦願いたいと思います。

特に本年は僧侶が例年よりも少ない状態です。

新人のお坊さんが勘違いをしまして、まれに落とす場合があるかも知れませんが、その時はすぐにお寺にご連絡下されば善処致します。

また皆様も、お正月に求めて戴く『ご守護札』を、玄関にしっかり張っておいて下されば、はずす事はないと思いますので、どうかご協力をよろしくお願い致します。

施餓鬼供養会

八月二十一日(金) 昼十二時半より当山の年に

一度の『施餓鬼供養会』が行われます。

お施餓鬼には、皆様の先祖代々の精霊や新盆にいぼん（昨年八月二十日以降の仏様）に当ります仏様の供養はもちろんですが、特に普段から供養の行き届いていない精霊にもお塔婆を上げて供養する事が大切です。

例えば、水子の霊・地主の霊・土地に縁する処の精霊・自分に頼る処の精霊・畜生類の霊などです。

特に『畜生類の霊』には、皆様が可愛がっていたペットや、日頃我々の身を養ってくれる牛・豚・鳥などの動物、お魚等の生き物の霊が上げられます。

皆様が、家族同様に愛情を注がれ、時に心をなごましてくれた愛犬や愛猫などのペットの霊、また我々の為に、その生命を犠牲にしてくれた生き物の霊、これ等への感謝も忘れてはいけません。

我々日蓮宗の檀信徒は、仏様の命を受け継ぐ總ての生き物を、法華経・お題目の力によって、救って上げなければいけない使命があります。

日蓮大聖人は「塔婆に手を触れた人、目で見た人、ましてや塔婆を建てた人は、凡夫の心を忘れ仏の心を起こします。」

更に「すでに亡くなられたご両親が、たとえどんな暗闇の世界にいたとしても、太陽や月が闇を明るく照らすように、この塔婆の功德によつて必ず浄土に行きます。」と教えられています。

どうか皆様も、自ら法要に参列し、ともにお題目とお経を唱え、心からお焼香をするようにしましょう。

* 塔婆供養・・・一霊千円



「水子さん」のご供養

新たに当山境内地に安置しています『水子観音様』に風車（かざぐるま）を上げて供養して下さい。

一体七〇〇円で、葉の部分に名前等の書き入れが出来ますので、ご希望の方は事務所までお申込み下さい。



水着にも必ずお守りを！

せっかくの楽しい夏休みも子供さん、お孫さん達に事故があつては大変です。

特にお守りを身に着けられない、海やプールは危険で何が起るか分かりません。

ご家族の方が工夫して、お守りを濡れないようにラップなどに包み、水着のポケットに着けて下さい。

また、水着にポケットがない場合は、水着に簡単な袋などを作ったりして、必ずお守りを着けさせるようにして下さい。

水着用に、お守りを一枚別に用意しておくと思ひ便利です。



④「お守りを持つていても、子供が中々身に着けてくれない」とよくお話を聞きますが、無理に首に下げさせなくてもよいですから、工夫してポケットや肌着などに着けてもらい、決して身体より離さない事だけはご指導して下さい。

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に旅行などで不在の時や、ご高齢で家庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方には、上位で空いている『位牌壇』を無料でお譲りしています。(管理費は変わります)

【三席】から【特席】にも上がれます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来て助かります。

◎詳細は事務所まで！

『靈断』のおすすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千円です】

またお上人にご指名のある場合は、予約時に申し出て下さい。

④必ずご予約下さい。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」のお勤め中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・【寺報】等の援助などにも活用しています。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

『角田堯現』上人 日蓮宗大荒行堂入行決まる

当山徒弟の『角田堯現』上人、今年度十一月一日より明年二月十日までの百日間の日蓮宗大荒行堂の修行に入る事が決まりました。

そこで、最初の三十五日間を終える面会と二月の成満を迎える日に、団体の参拝旅行を企画しました。

時期的に早いと思いますが、昨今の旅行事情の関係から、旅館・交通機関を早めに予約した方がお得である所から決まりました。

(注)特に「初行」の面会は感極まります。

『大荒行堂での面会と 全荒行僧によるご祈祷』

・・・身延山と静岡蓮華寺参拝の旅・・・

日程・令和八年十二月七日(月)～十一日(金)

行程・全行程バス 蓮華寺～荒行堂～身延山～

静岡蓮華寺～青森

旅費・一五五、〇〇〇円(ご祈祷代も含む)

詳細は事務所前のパンフレットをご覧ください。

(注)【出迎え団参】は後日発表します。

ご首題帳 (ご朱印帳)

当山では、季節ごとに新たなデザインの『ご首題』を用意していますので、どうか、ご利用下さい。

お盆中の朝のお勤め

お盆期間中、毎朝六時半からの『朝のお勤め』は時間をかなり短縮して行いますので、ご了承下さい。

お盆中の十三日のお勤め

毎月十三日の午後一時に執り行われています『日蓮大聖人』のご命日法要は、八月は【お盆】の関係で十日(月)の日に行いますので、お間違いのないようにお参り下さい。

『提灯』の募集！

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』(トローロー)を募集致します。作成価格は八千円で、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

八月の行事

一日(土) 盛運祈願会 午後一時より

・毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。

・お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。

・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。

・蓮華寺檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十日(月) 日蓮大聖人のご回向 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)

・如来寿量品第十六(真読・漢字読み)

・お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。

(注)八月はお盆の為、十日の日にご回向しますので、お間違いのないようにご参拝下さい。

十三日(木)～二十日(木)『お盆』 2頁参照

十八日(火) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

二十一日(金)【施餓鬼供養会】 (注)昼十二時半より

☆奉仕のお知らせ

お盆の追膳

(注)『お盆の追膳』のお手伝いは、朝

十四日(金)

【午前六時～七時半】夕【午後三時

十五日(土)

～五時】です。お手伝い出来

十六日(日)

ます方は檀信徒のどなた様でも結構です。時間迄に集合下さい。

十八日(火) 施餓鬼供養会の準備

・男女共・午前十時半より

二十一日(金) 施餓鬼供養会のお手伝いと後片付け

・男女共・午前十時より

*お施餓鬼は、先祖供養の為の精霊棚や流し供養の船の準備、また塔婆供養の仕度などがあります。

ご先祖の為に、ご奉仕をよろしく願致します！

教宣部長・杉淵昌三

★今月は『檀信徒研修会』はお休みとなります。

施 餓 鬼 供 養 会

八月二十一日 (金)

昼十二時半より



(追善塔婆供養)

- * お塔婆のお申し込みは各霊一霊につき千円です。
- * 新盆の仏様は必ずご供養してあげましょう。
- * 当日はお忙しくとも、法要に参列し、お焼香し一緒にお経・お題目を唱えるようにしましょう。
- * お経は
 - ◎如来寿量品第十六・真読 (漢 字読み)
 - ◎提婆達多品第十二・訓読 (日本語読み)中ごろ「大智徳勇健にして～」を読みます
【④お経本を用意して下さい】
- * お供物も受け付けています。